

千葉県下の企業誘致の趨勢について

平成25年2月

鴨川市企画政策課

## 目 次

- 1 工場立地件数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 工場立地件数の業種別構成・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 千葉県内への工場の移転状況・・・・・・・・・・・・ 4
- 4 工場立地の二ーズ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 5 (資料) 市町村別工場立地の状況・・・・・・・・・・・・ 7

# 1 工場立地件数の推移

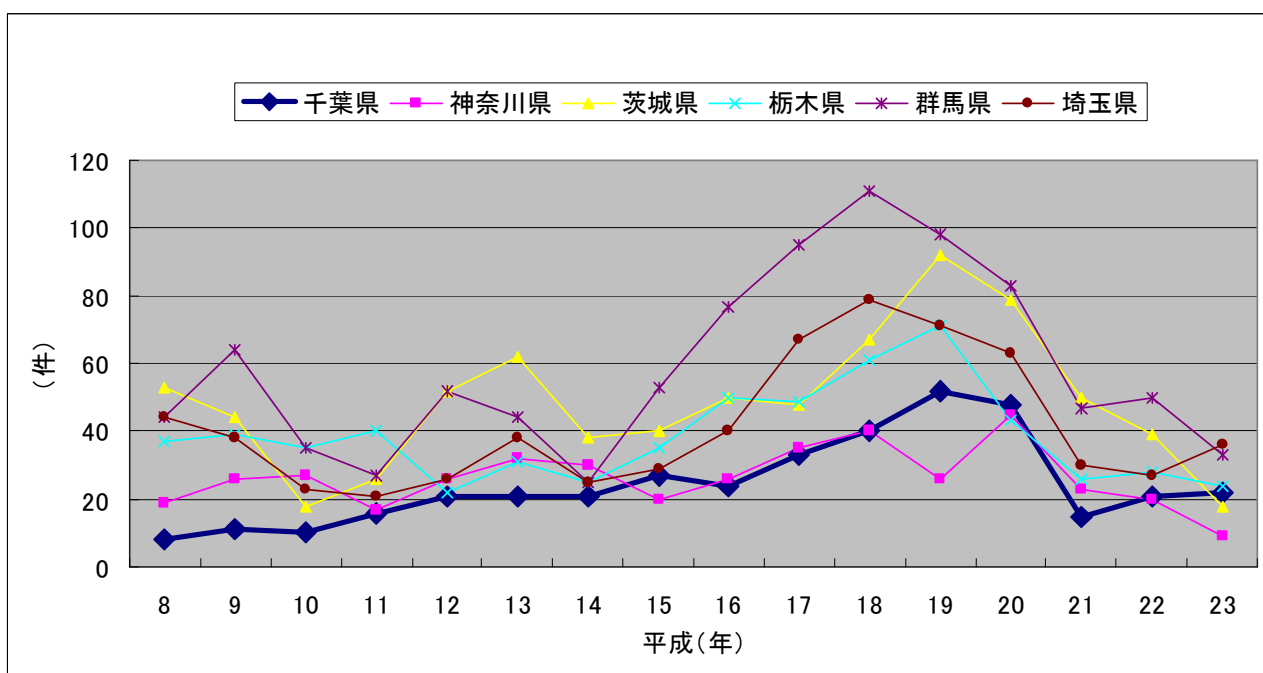
千葉県内の工場立地件数の推移をみると、バブル崩壊に伴う景気の後退により、平成10年頃までは件数も少なく低迷していた。その後、平成9年に開通した東京湾アクアライン効果や、国内の緩やかな景気回復等により、立地件数は増加基調をたどり、平成19年には52件まで増加した。しかしながら、平成20年のリーマンショックを契機とする国際的な金融危機や、株価の暴落による实体经济への影響があり、企業の投資意欲が落ち込み平成21年には15件に減少した。その後は、平成22年の東京湾アクアラインの社会実験により、通行料が引下げられた（普通車800円）ことなど、交通アクセスの利便性向上が図られた効果等により、やや回復基調見せている。また、平成25年4月に開通予定である首都圏中央連絡自動車道の木更津東ICから東金ICまでの整備や、千葉県を中心とした東京湾アクアライン料金引下げの恒久化に向けた取組みなど、県内の交通インフラの一層の充実により、企業からの注目度が高くなると期待される。

千葉県の工場立地件数は、全国的には上位に位置しているが、東京都を除く関東地域と比較すると神奈川県とともに低水準となっており、更なる企業誘致政策の充実が求められる。

工場立地件数の推移

(単位:件)

平成(年)	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
千葉県	8	11	10	16	21	21	21	27	24	33	40	52	48	15	21	22
(全国順位)	41	40	37	26	24	20	17	15	21	19	20	13	9	22	14	17
神奈川県	19	26	27	17	26	32	30	20	26	35	40	26	45	23	20	9
茨城県	53	44	18	26	52	62	38	40	50	48	67	92	79	50	39	18
栃木県	37	39	35	40	22	31	25	35	50	49	61	71	43	26	28	24
群馬県	44	64	35	27	52	44	25	53	77	95	111	98	83	47	50	33
埼玉県	44	38	23	21	26	38	25	29	40	67	79	71	63	30	27	36
全国	1,546	1,513	1,157	969	1,126	1,123	844	1,052	1,302	1,544	1,782	1,791	1,630	867	786	869



資料：経済産業省「工場立地動向調査」

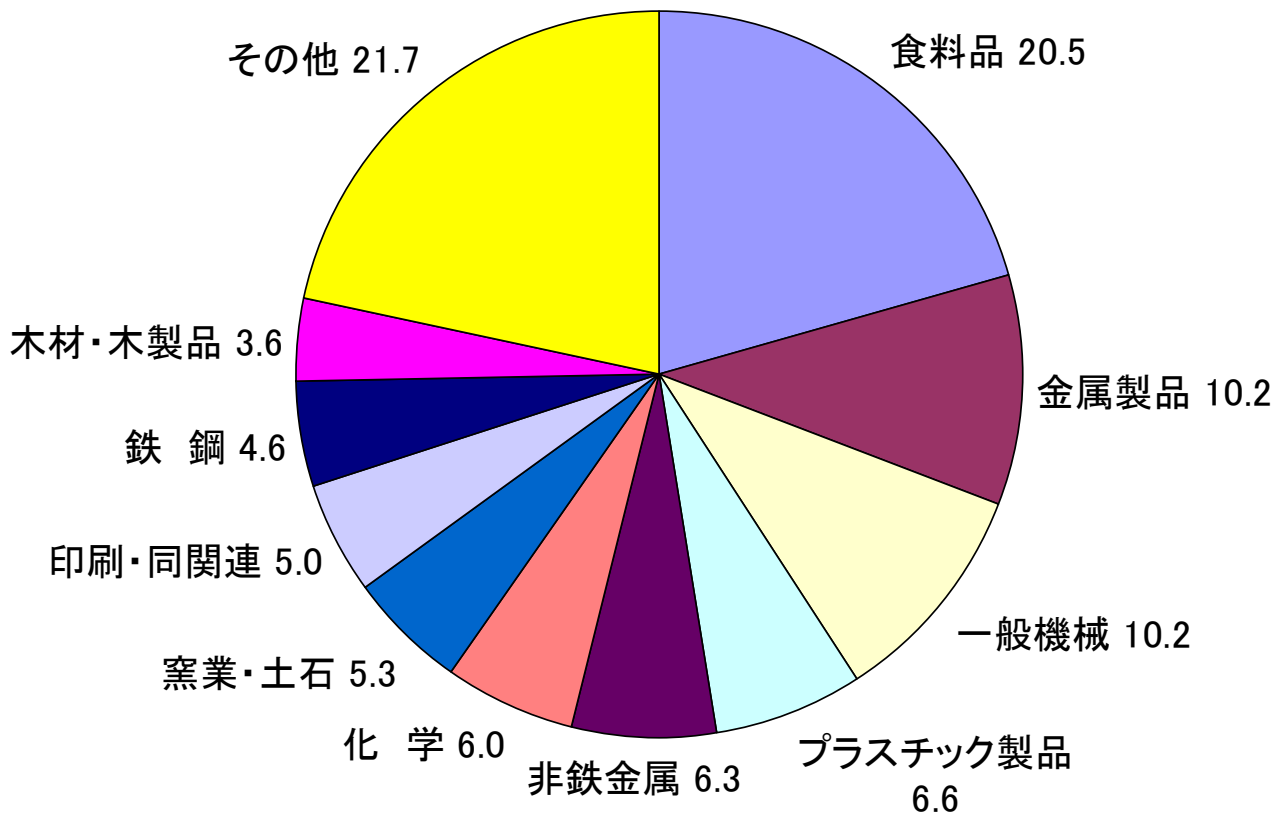
## 2 工場立地件数の業種別構成

千葉県の上場立地件数(平成14~23年合計)の業種別構成比は、食料品(20.5%)、金属製品(10.2%)、一般機械(10.2%)の割合が高くなっている。

全国の業種別構成と比較すると、食料品(千葉県20.5%、全国13.9%)、化学(千葉県6.0%、全国3.6%)分野の業種が全国と比べて高くなっている。一方で、千葉県には自動車メーカーの上場立地がないことから、輸送用機械(千葉県1.3%、全国6.5%)の比率が低く、そのほかに電子部品・デバイス(千葉県1.0%、全国4.0%)や精密機械(千葉県1.0%、全国4.6%)分野の業種が低くなっている。

千葉県の工場立地件数(新規)の業種別構成(平成14~23年合計)

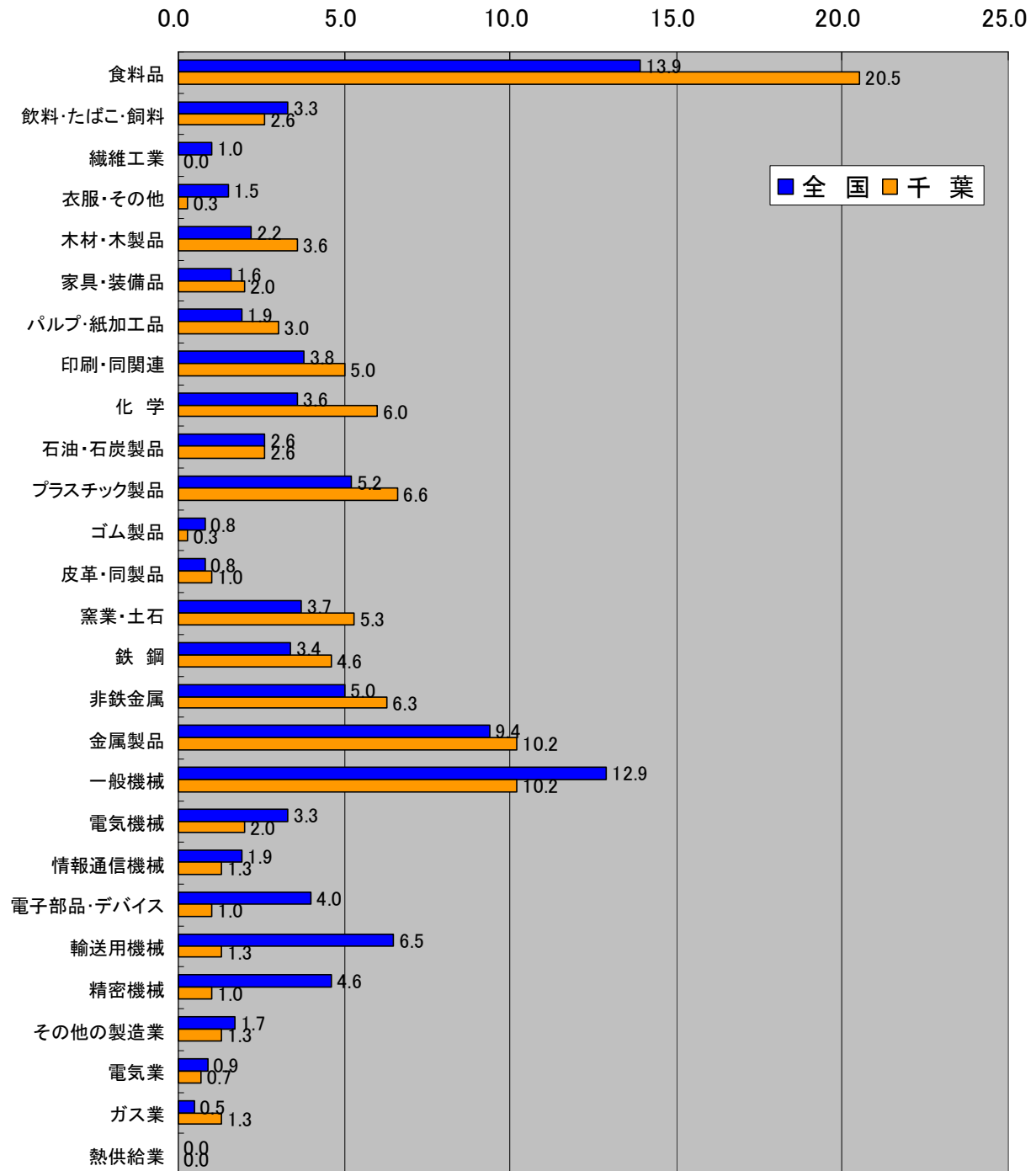
(単位:%)



資料：経済産業省「工場立地動向調査」

千葉県と全国の工場立地件数(新規)の業種別構成比(平成14～23年合計)

(%)



資料：経済産業省「工場立地動向調査」

### 3 千葉県内への工場の移転状況

平成 14 年から平成 23 年までの間の、千葉県内への県外からの工場の移転状況は、東京都からが 22 件 (53.7%)、249 千㎡ (34.0%) と最も多く、続いて、神奈川県 (9 件、216 千㎡)、埼玉県 (7 件、164 千㎡)、茨城県 (2 件、31 千㎡)、京都府 (1 件、72 千㎡) となっている。

東京都・神奈川県・埼玉県から県内への地域別の移転状況は、東京都からの企業をみると、東京都近隣の松戸市・市川市・船橋市・習志野市・佐倉市への移転が多くなっている。また、神奈川県や神奈川県に隣接する東京都大田区からは、東京湾アクアラインの接岸地周辺の袖ヶ浦市・木更津市・富津市への移転が多くなっている。

#### 千葉県内への工場の移転状況

県外⇒県内

(単位:件、千㎡)

	東京都		神奈川県		埼玉県		茨城県		京都府		合計	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
合計	22	249	9	216	7	164	2	31	1	72	41	732
H14			1	32							1	32
H15	2	18									2	18
H16	2	20			2	53					4	73
H17	2	12	2	10	1	12	1	25			6	59
H18	2	9	1	16	1	9					4	34
H19	3	11	2	79	2	87			1	72	8	249
H20	8	170	1	24							9	194
H21	1	3	1	15			1	6			3	24
H22			1	40	1	3					2	43
H23	2	6									2	6

資料:経済産業省「工場立地動向調査」

東京都・神奈川県・埼玉県から千葉県への工場立地（地域別・平成12～21年）

旧工場所在地		工場建設地	工業団地名	敷地面積(m <sup>2</sup> )	
都道府県	市区郡				
東京都	葛飾区	→	松飛台工業団地	3,623	
		→	稔台工業団地	2,294	
	江戸川区	→	香取市	—	2,975
		→	船橋市	船橋ハイテクパーク	4,999
		→	市川市	—	2,899
		→	千葉市	新港経済振興地区	16,447
	江東区	→	佐倉市	熊野堂工業団地	6,000
		→	船橋市	京葉港地区工業用地	3,302
		→	市川市	—	1,989
	大田区	→	印西市	松崎工業団地	2,648
		→			12,405
		→	東金市	千葉東テクノグリーンパーク	9,340
		→	袖ヶ浦市	袖ヶ浦椎の森工業団地	10,630
		→	富津市	富津地区工業用地	103,216
→		香取市	—	5,151	
→		習志野市	南習志野工業団地	3,938	
→			—	3,700	
→	船橋市	京葉港地区工業用地	5,319		
→	板橋区	神崎工業団地	15,880		
→	北区	本埜村	千葉ニュータウン	27,187	
→	墨田区	習志野市	京葉港地区工業団地	4,119	
→	八王子市	佐倉市	ちばリサーチパーク	3,530	
東京都 小計				251,591	
神奈川県	横浜市	→	袖ヶ浦市	袖ヶ浦臨海工業団地	2,263
		→		—	7,810
		→	富津市	富津地区	16,187
	川崎市	→		富津地区工業用地	11,000
		→	君津市	君津地区	31,785
	藤沢市	→	木更津市	かずさアカデミアパーク	67,634
	→			24,154	
	→	富津市	富津地区工業用地	15,000	
神奈川県 小計				175,833	
埼玉県	川口市	→	浦安市	—	5,670
	三郷市	→	松戸市	松飛台工業団地	34,697
	狭山市	→	千葉市	千葉土気の森工業団地	6,019
	岩槻市	→	香取市	—	47,493
	吉川市	→	本埜村	千葉ニュータウン	79,960
	幸手市	→	野田市	関宿はやま工業団地	8,595
	八潮市	→	東金市	千葉東テクノグリーンパーク	12,068
	→	野田市	野田南部工業団地	7,373	
埼玉県 小計				201,875	
1都2県合計				629,299	

出典：千葉県

#### 4 工場立地のニーズ

平成19年から平成23年の間に千葉県内へ新設された工場における、立地に際して重視する項目は、最も重要な理由としては、「市場への近接性（13件）」、「工業団地である（12件）」、「土地が安い（8件）」が多い。その他の主な理由（複数回答）としては、「工業団地である（47件）」が最も多く、「本社・他の自社工場への近接性（35件）」、「土地が安い（34件）」が続いている。

#### 工場の立地に際して重視する項目〔新設のみ〕（平成19～23年）

##### ◎最も重要な理由

（単位：件数）

	千葉県	全国計
市場への近接性	13	170
工業団地である	12	185
土地が安い	8	206
原材料等の入手の便	6	112
本社・他の自社工場への近接性	5	498
周辺環境からの制約が少ない	5	133
高速道路を利用できる	3	47
関連企業への近接性	3	215
人材・労働力の確保	1	135
経営者等の個人的なつながり	1	35
他企業との共同立地	1	13
地方自治体の誠意・積極性・迅速性	-	76
流通業・対事業所サービス業への近接性	-	12
国・地方自治体の助成	-	82
空港・港湾・鉄道等を利用できる	-	18
工業用水の確保	-	21
学術研究機関の充実（産学共同等）	-	7
その他	4	147
合計	62	2,112

##### ○その他の主な理由（複数回答）※上位3項目塗りつぶし

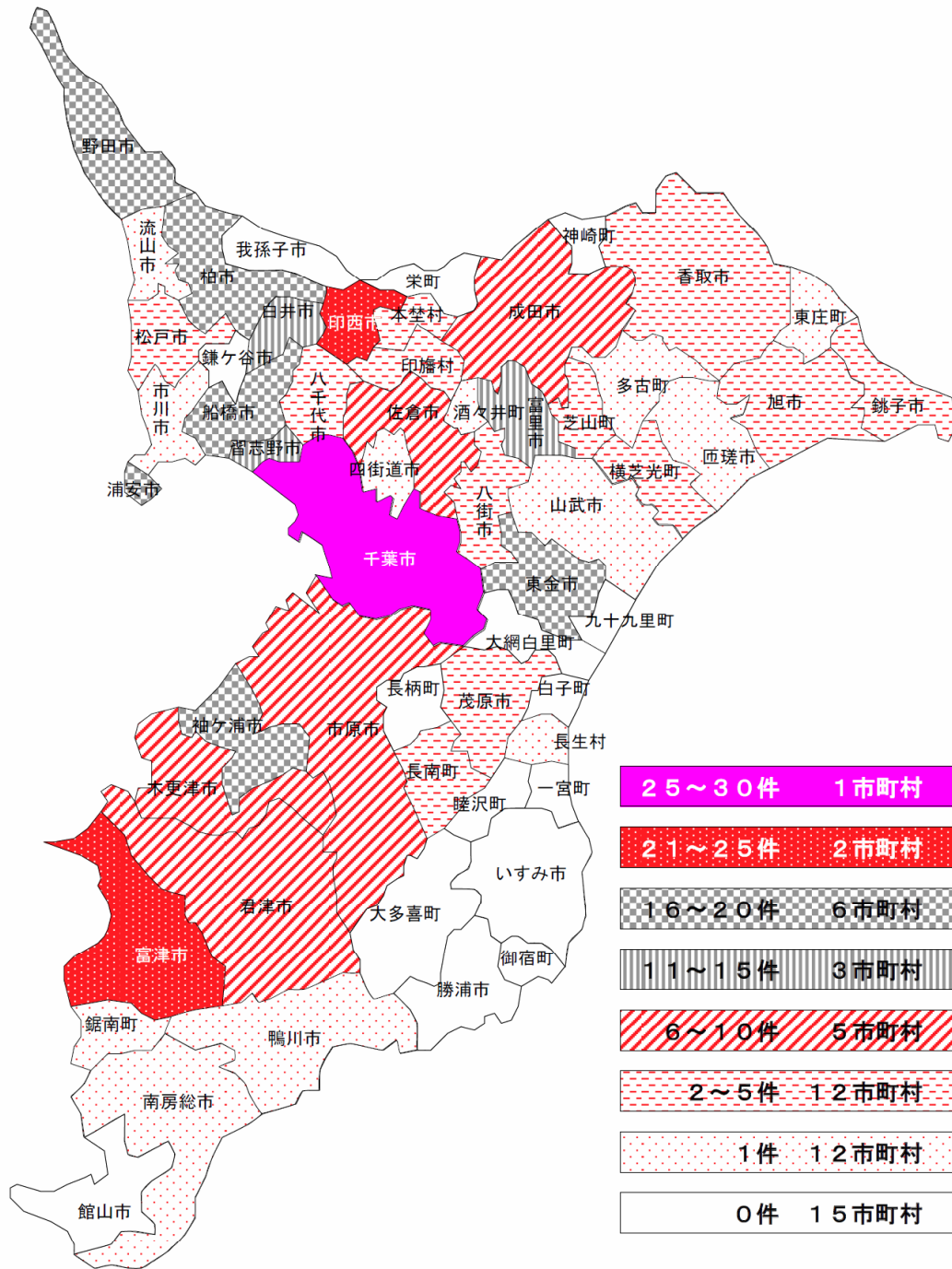
（単位：件数）

	千葉県	全国計
市場への近接性	17	471
工業団地である	47	981
土地が安い	34	930
原材料等の入手の便	15	317
本社・他の自社工場への近接性	35	958
周辺環境からの制約が少ない	21	714
高速道路を利用できる	21	514
関連企業への近接性	15	556
人材・労働力の確保	19	636
経営者等の個人的なつながり	5	137
他企業との共同立地	-	45
地方自治体の誠意・積極性・迅速性	11	518
流通業・対事業所サービス業への近接性	10	132
国・地方自治体の助成	9	571
空港・港湾・鉄道等を利用できる	5	113
工業用水の確保	3	93
学術研究機関の充実（産学共同等）	2	44
その他	9	359
合計	278	8,089

資料：経済産業省「工場立地動向調査」

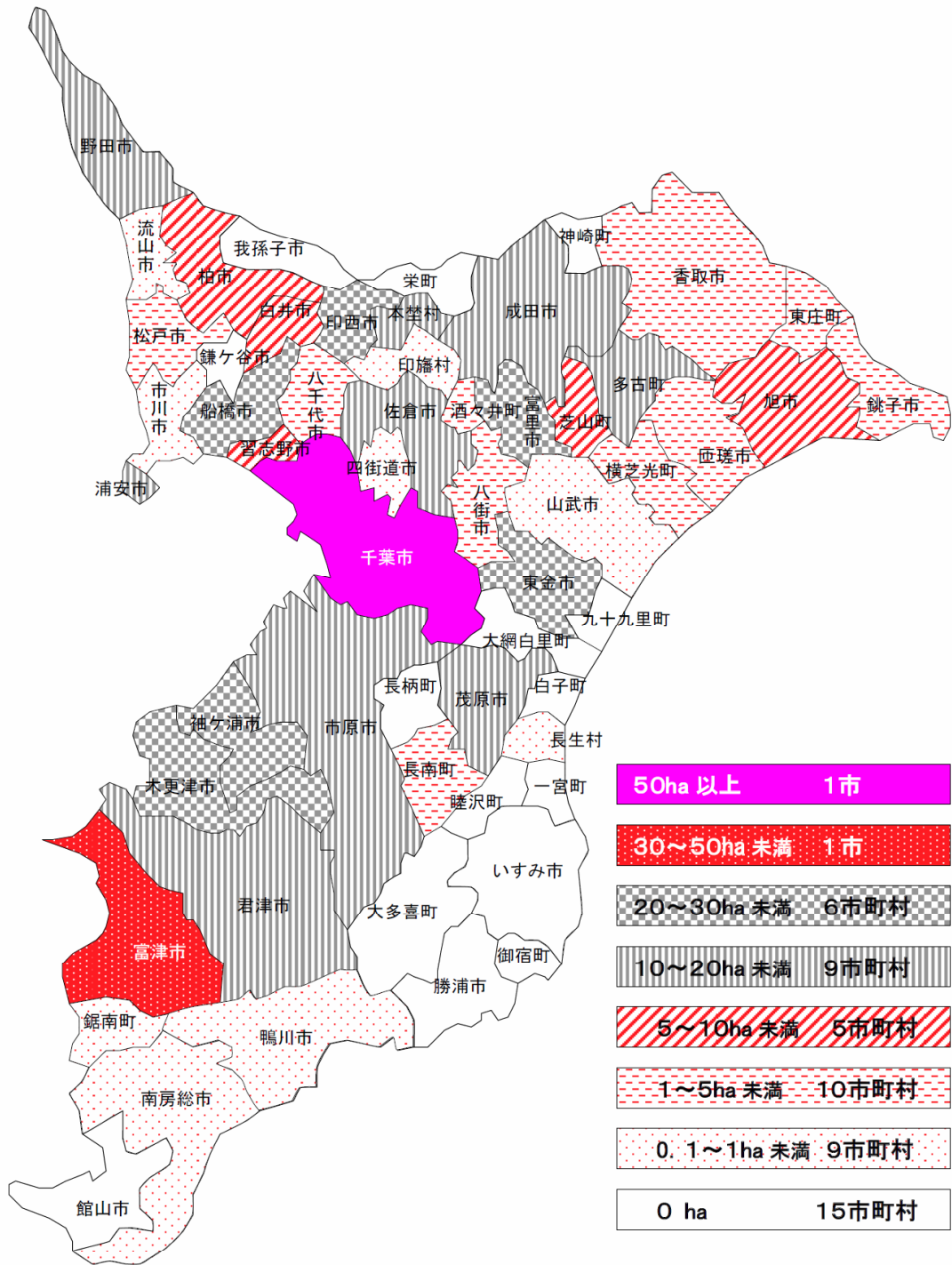


市町村別工場立地の状況（件数ベース）  
（平成 17～21 年）



出典：千葉県

市町村別工場立地の状況（面積ベース）  
（平成 17～21 年）



出典：千葉県

